東青梅老壮大学２月講座

～武蔵野台地と霞川の成り立ち～

を実施しました

令和４年２月２４日（木）、霞共益会館にて元青梅市文化財保護指導員の角田　清美（すみだ　きよみ）先生をお迎えし、「武蔵野台地と霞川の成り立ち」というテーマで青梅市の歴史に関する講座を実施しました。

当日は、学長等含め４３名の学生が参加し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で講座を行いました。

講義では、主に資料（※[1]）をもとに説明されていましたが、その資料の内容を学生がよりイメージしやすいように、「衛星写真」や「昔の青梅市の地図」、「西多摩建設事務所が配布している霞川流域地図」（※[2]）をプロジェクターに投影し、レーザーポインターで該当部分を示しながら説明されていました。

その他にも、学生にとって身近な話や角田先生の日常のユニークな話も交えたり、時には学生に質問等双方向のコミュニケーションも取りながら、終始楽しく武蔵野台地や霞川について学びました♪

角田（すみだ）　清美（きよみ）　先生
（元青梅市文化財保護指導員）

「※[1]」と「※[2]」については、ＰＤＦファイルでダウンロードできますので、ぜひ、資料もご覧ください！